

会 議 録

名 称	令和7年度 松山市子ども・子育て会議 全体会（第3回）				
事 務 局	こども家庭部こどもえがお課 TEL 089（948）6039 FAX 089（934）1822				
開催日時	令和8年2月9日（月） 午前10時～午前10時55分				
開催場所	松山市青少年センター3階 大ホール				
出席者	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;">委 員</td> <td>安藤 有紀、池田 秀 宇津見 亮子、大原 淑子、鬼頭 裕美、小助川 元太、 實藤 むつみ、竹安 美月、田中 美紀、友川 礼、中岡 彩、中川 恵津子、 中島 康史、二宮 一朗、濱田 由紀、淵上 悟、村岡 則子、安永 耕造、 渡部 梨乃（五十音順、敬称略）合計19名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事務局</td> <td>こども家庭部 部長 井出 修敏、副部長 高橋 邦光、副部長 中野 朱美 ほか 合計36名</td> </tr> </table>	委 員	安藤 有紀、池田 秀 宇津見 亮子、大原 淑子、鬼頭 裕美、小助川 元太、 實藤 むつみ、竹安 美月、田中 美紀、友川 礼、中岡 彩、中川 恵津子、 中島 康史、二宮 一朗、濱田 由紀、淵上 悟、村岡 則子、安永 耕造、 渡部 梨乃（五十音順、敬称略）合計19名	事務局	こども家庭部 部長 井出 修敏、副部長 高橋 邦光、副部長 中野 朱美 ほか 合計36名
委 員	安藤 有紀、池田 秀 宇津見 亮子、大原 淑子、鬼頭 裕美、小助川 元太、 實藤 むつみ、竹安 美月、田中 美紀、友川 礼、中岡 彩、中川 恵津子、 中島 康史、二宮 一朗、濱田 由紀、淵上 悟、村岡 則子、安永 耕造、 渡部 梨乃（五十音順、敬称略）合計19名				
事務局	こども家庭部 部長 井出 修敏、副部長 高橋 邦光、副部長 中野 朱美 ほか 合計36名				
議 題	松山市こども計画に関するアンケート調査について ほか				
議事内容	<p>(1) 開会</p> <p>(2) 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">①松山市こども計画に関するアンケート調査について</p> <p style="padding-left: 20px;">②松山市こども計画別冊の改訂について</p> <p>(3) 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">①公設児童クラブの運営体制について</p> <p>(4) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">①第3期松山市子ども・子育て支援事業計画に記載する「地域子ども・子育て支援事業の関係機関相互の連携推進に関する事項」について</p> <p>(5) 連絡事項</p> <p>(6) 閉 会</p> <p>【委員からの意見等（一部抜粋）】</p> <p>●資料1「松山市こども計画に関するアンケート調査について」</p> <p>・成果指標の数値が計画策定時と今回調査で大幅に上がっている項目があるが、アンケート調査の方法や周知を改めて検討し、見直した方が良いのではないかと思います。</p> <p>●資料3「公設児童クラブの運営体制について」</p> <p>・民間事業者への市場調査について、処遇面を変えず、これまでの実施体制を基にしながら移行を検討しているという前向きな回答があったとのことだが、ルールを変えることなくどのように乗り越えるのか。</p> <p>→企業として人材確保のノウハウがあることに加え、受託に当たっては現在勤務している方の継続雇用を優先し、不足する場合は松山圏域での新規採用を行うほか、広く事業展開しているスケールメリットを生かして他のエリアから調達する、といった事業スキームが確立されているという意見をいただいている。</p> <p>・運営委員会等への調査で、「あと1年しか運営を続けられそうにない」との回答が5件あったようだが、具体的にいつまでに変更することを想定しているのか。</p> <p>→令和9年度から変更できるよう準備を進めており、令和9年度は3運営委員会程度の変更を想定している。その後、3～5年かけて順番に検討できればと考えている。</p> <p>・塾や習い事に行く等、個人の理由で児童クラブを辞める方もいれば、児童クラブに行きたくない等の理由で辞める方もいると思う。辞めた方は今回のアンケートの対象外であり、現在も児童クラブを利用している方の回答は、満足度が高くなることは想定できると思う。今のままを踏襲すればいいということではなく、よりレベルが上がることを求めて民間事業者への移行をお願いしたい。</p> <p>・公設児童クラブの運営が大変になるということは、現在の保育所等の状況を見れば、見通しはできていたと思う。保育所等が増えれば、児童クラブも増えていくということが必然だったとも思う。こども施策として、保育所では処遇改善として費用等を増やして保育士確保に努めているので、児童クラブも同じように手厚くなるようにしていただきたい。</p>				

	<p>→保育需要をみても、まだピークは来ていないと見込んでおり、児童クラブは今後も増やしていかないといけないとっていて、現在、小学校の改修にあわせて、段階的に児童クラブ数も拡充しているところ。</p> <p>●資料「松山市における「インクルージョンの推進」について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この「インクルージョンの推進」というテーマが、計画上の言葉ではなく、松山市のどこでも当たり前に見られる光景となるように、今後の会議において、皆様それぞれの専門的な知見から、継続して議論を重ねていただけることを心より願っている。 ・悩みを相談しても支援に結びつかないことや相談員が見つかるまでに時間がかかるなど、支援体制が十分ではないと思っている。市は仕組みを整えることしかできないかもしれないが、支援が途切れないようにサポートをしてほしい。 <p>●協議事項（3）①に関して、事務局案のとおり承認。</p>
備考（資料）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 第3回 松山市子ども・子育て会議 次第 ・令和7年度 第3回 松山市子ども・子育て会議 配席図 ・松山市子ども・子育て会議委員名簿 ・資料1 松山市こども計画に関するアンケート調査について ・資料2 松山市こども計画別冊の改訂について ・資料3 公設児童クラブの運営体制について ・資料 松山市における「インクルージョンの推進」について
公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人（10席）